

みんなで育てる「たいしの子」vol.3

幼小中一貫教育だより

非認知能力を伸ばす取り組み

あいさつを大切に！人とつながる力を育む 町立磯長小学校の取り組み

町立磯長小学校では、数年間「あいさつのできる子」に重点を置いて、児童たちにあいさつを積極的にできるよう声かけを行っています。この「あいさつのできる子」というのは、町立磯長小学校の教育目標でもある「めざす子どもの姿」「おもいやりのある子」「けんこうな子」「かंगाえる子」「がんばる子」「あいさつのできる子」の中の一つでもあります。

「あいさつのできる子」という目標は、今回、町の幼小中一貫教育で取り組んでいる「非認知能力」を伸ばす教育の中の「つながる系の力」に大きく関わっていると考えています。あいさつは人とつながる・コミュニケーションをとる際の基本となるからです。

この「あいさつのできる子」に向けて、学校では様々な取り組みを行っています。例えば、5・6年生が中心となって取り組む委員会活動の一つである「生活委員会」の活動があります。毎朝、児童たちが、校門付近に立ってあいさつ運動をしています。

期間限定ですが、あいさつができればカードにスタンプを押す活動や「あいさつをしよう」という横断幕を持ってあいさつ運動を行っています。一部の紹介になりましたが、町立磯長小学校の児童たちみんなが沢山あいさつできるように児童から出るアイデアを大切に、工夫を凝らした様々な活動を行っています。

また、毎週火曜日の朝に行われる全校朝会では、学校長や生活指導の教職員から児童たちに「あいさつの大切さ」を伝える場を設け、児童たちからすすんであいさつすることが日常となるよう取り組んでいます。これからも、たくさんのあいさつであふれる町立磯長小学校にしていきたいと思っています。



「伝える力」から「受け取る力」へ、そしてさらに… 町立山田小学校の取り組み

道徳の題材で「家族に漢字1文字で思いを伝える」話があります。

まず、教科書にでてくる漢字について、なぜ作者がその漢字を選んだのか、その理由を予想しました。

様々な角度から考えた後、その漢字にまつわるメッセージを読み、作者の思いを知りました。

作者の思いを知り、多くの児童も納得しました。

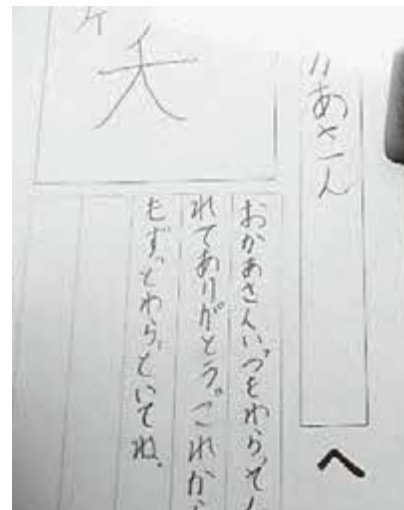
実際に児童自身が家族へ送る漢字1文字を決め、その理由をメッセージに記す作業を行いました。

児童は、いろいろと思案していましたが、「楽」「笑」などポジティブな漢字を選択している児童や、「自分の名前」を選び、家族から聞いている名前の由来を述べることに決めた児童も多くいました。

どの児童も伝える相手をイメージしながら、メッセージを考え、下書きを何度も繰り返し、清書しました。



◀発表の様子
児童の作品▶



発表当日は、TV モニターに児童が選択した漢字を1つずつ提示し、家族のしている前で発表しました。

たくさんの参観者がいる中でも、児童は自分の家族の方を向いて、少し恥ずかしそうでしたが、とてもうれしそうな表情で発表していました。参観者も優しいまなざしで、児童の発表を見守っていました。発表者が家族の姿を見つけられず辺りを見回している際には、参観者が気づき、参観者みんなで児童の家族を見つけようとしていた姿も印象的でした。クラス全員が発表することができました。

思いを伝えることができた児童は大満足し、参観者からも子どもたちの成長を感じることができたと言って頂けました。今回の活動をととして、児童は「伝える」だけでなく、「相手に喜んでほしい」、「知ってほしい」、「見ていてほしい」といろいろな思いを込めながら、また、様々なことを考えながらメッセージを作成していました。

また、発表時、聞き手の表情やしぐさからどんな気持ちで聞いているかを感じ取ることもできました。「次はもっといい発表をしたい」とく伝える力>の向上はもちろん、「こんなことをしてみたい」や「もっといいものに仕上げたい」などく挑む力>>あきらめない力>への波及も期待できる活動でした。

教えて!とくどめ先生! 「非認知能力の伸ばしたい側面」

ここまで、非認知能力の特長や、決して新しいものではないということをお話してきました。今回は、幼小中一貫教育で伸ばしたい非認知能力の側面があるというお話をしします。下記の表をご覧ください。

この表からお分かりになるように、非認知能力には伸ばしたい側面があります。

そのため、認知能力のように、高いほど良いというわけではなく、状況に応じて使いこなしたり、それぞれの力を組み合わせたり、補い合わせたりすることが非常に重要であり、力の発揮の仕方が大切になってきます。

これもまた、非認知能力の大きな特長であると理解して頂ければ幸いです。

次回からは、今なぜ非認知能力がこれほどまでに世間で注目を集めているのかについて説明をしていきたいと思います。

3つの非認知能力の伸ばしたい側面	
対自的維持・調整系能力群 自分と向き合う力 自制心 忍耐力 レジリエンス(回復力)…など	・いつも安心していて、表情や態度に落ち着きがある。 ・計画などにも忠実で規律正しく、忍耐強さと注意深さがある。 ・辛いことがあっても気持ちを切り替えて、再び取組むことができる。
対自的変革・向上系能力群 自分を高める力 意欲・向上心 自身・自尊感情 楽観性…など	・新しいものを好み、そこに喜びを感じられる。 ・難しいことは立ちはだかっても自分の可能性を信じていることができる。 ・いろいろなことを取り組む中で楽しさを感じることができる。
対他協調・協働系能力群 他者とつながる力 コミュニケーション力 共感性 社交性・協調性…など	・他者との意思疎通をとりやすい発信と受信ができる。 ・他者の感情や思いをその理由や背景も含めて塑像的に理解することができる。 ・人あたりのよさがあり、多くの人と仲良くできる。

◆問合せ 教育総務課 ☎98-5533